

厚田区地域協議会 第8期総括並びに引継ぎに事項（案）

作成に係る意見聴取 <まとめ>

委員の皆様からのご意見を項目ごとにまとめました。

第8期への引継ぎ事項		意見・感想など
①	区民と行政の『協働』の取り組みは、必要不可欠	・ 集落支援員制度検討委員会での協議が具現化すると正に「協働」の取り組みとなります。 ・ 事務局も大変だと思いますが今後も協働の取り組みは必要。 ・ 「協働」の取り組みは今後もなくてはならない軸になると思う。
②	地域おこし協力隊4名体制の維持	・ 集落支援員制度を令和4年度に導入すると次年度以降地域の解決に増員が必要になるのでは。 ・ 任期途中で退任した隊員について、その退任に至った経緯と動機を共有し、改善できる点について協議できれば。 ・ 新しい協力隊の活動も参考にしながら厚田のためになるなら4名体制で行きたい。 ・ 個人での活動。 ・ 2～4名等全員での取り組み～地域課題を地域の人達と一緒に解決できる場作りが必要。
③	自治連合会との連携	・ 地域協議会、地域交通サービス検討委員会、集落支援員検討委員会に自治会や各団体から委員になっていることも連携といえるのでは。 ・ 今期はコロナのため、自治会との座談会も開催できず残念だが集落支援員制度の考えが共有できたのが良い。 ・ 若い世代、老人世代の意志の反映には各地区の区長さんの情報収集や意見交換が大事。
④	委員としての役割を明確に、活動を進める	・ 委員として必ずしも満足できる活動ではなかったと思う。 ・ 役割はそれぞれあるが中々独自の活動には結びつかなく事務局の負担が大きいと思っている。 ・ 落ち込んでいる商工業の話が出来ないのは残念です。
⑤	地域の声を拾い上げる『場づくり』	・ これは中々出来ていないので時期にも引き継ぎたい項目である。 ・ 「座談会」を開くと特定のいつもの顔ぶればかりかと。業種ごとの集まりが必要かと。（老若とわず）かかえている問題や悩み事が出てくるのではないか。
⑥	トリガー（牽引者）の発掘	・ 各分野のトリガー役はすでに存在しているので、そのトリガーの方々と情報共有と、合議的に物事を進められる場があると良いと思う。 ・ 高齢社会で中々人材がいない中ではあるが是非発掘をしていきたい。 ・ 地域の事をよく知っていてそれぞれの立場で活動している人達のまとめ役は是非必要で、又、引継ぎ、探していくべき。
⑦	一人ひとりが地域振興に『熱く』向き合う	・ 意識はしているものの「これだ」というものがなく残念に思う。 ・ 「熱く」は中々なれず、まずは参加して気持ちを共有する事が、興味を持ってもらう一歩かと思う。（集落支援員制度の導入に期待）
その他・自由記載欄		
・ 2年間の任期があっという間に過ぎました。機会があれば次に臨みたい。 ・ 引継ぎの内容が固定しているように感じます。①～⑦の取り組みをしっかりと実行に移す事と思います。		